

平成30年度 政務活動費支出整理簿

(会派名 自由民主党西東京市議団)

経費項目		視察研修費		
整理番号	枝番	月日	支出額(円)	支出内容
1		7月12日・13日	151,146	議会運営委員会行政視察同行費用
2		10月11日・12日	43,754	第80回全国都市問題会議参加費用
3		11月14日・15日	32,354	第13回全国市議会議長会研究フォーラム参加費用
小計				備考 詳細については、領収書添付用紙を参照下さい。
合計			227,254	

領収書添付用紙

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

整理番号 1

調査研修費		【内容説明欄】 7月12日から7月13日 議会運営委員会行政視察 委員外議員同行費用 滋賀県 大津市 議会BCPについて 兵庫県 加古川市 議会事務事業評価について 合計 151,146 円
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

【留意事項】

1. この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

視察者名簿(自由民主党西東京市議団)

	氏 名	ふりがな	備 考
1	遠藤 源太郎	えんどう げんたろう	
2	稲垣 裕二	いながき ゆうじ	
3	田中 のりあき	たなか のりあき	
4			
5			
6			
7			
8			

議会運営委員会視察(遠藤 源太郎 議員分) 【政務活動費】						
視察期間	平成30年7月12日・13日					
視察先	滋賀県 大津市					
視察目的	議会BCPIについて					
視察先	兵庫県 加古川市					
視察目的	議会事務事業評価について					
日付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金額	備考
7月12日	田無	高田馬場	西武新宿線	15.6	237	全てIC乗車券利用
	高田馬場	東京	JR山手線	14.4	17,280	往復割引乗車券 東京都区内⇄加古川
	東京	京都	新幹線	513.6	5,390	特急券・座席指定券 往復割引乗車券に含む
	京都	大津京	JR湖西線	10.9	240	往復割引乗車券に含まず
	大津京	大津	JR湖西線・琵琶湖線	9.9	200	往復割引乗車券に含まず
	日計				564.4	23,347
7月13日	大津	京都	JR湖西線	10.0	200	往復割引乗車券に含まず
	京都	加古川	JR湖西線他	115.0	0	往復割引乗車券に含む
	加古川	西明石	JR神戸線	16.3	0	往復割引乗車券に含む
	西明石	東京	新幹線	612.3	5,810	特急券・座席指定券のみ
	東京	高田馬場	JR山手線	14.4	0	往復割引乗車券に含む
	高田馬場	田無	西武新宿線	15.6	237	
	日計				783.6	6,247
小計				1,348.0	29,594	
日当	2,500円 × 2日				5,000	
宿泊費	15,768円 × 1日				15,768	(1泊2食付き)
合計					50,362	【変更後】

京王観光立川支店に44,248円(宿泊+往復乗車券+新幹線往復)支払い済み

議会運営委員会視察(稲垣 裕二議員分) 【政務活動費】						
視察期間	平成30年7月12日・13日					
視察先	滋賀県 大津市					
視察目的	議会BCPについて					
視察先	兵庫県 加古川市					
視察目的	議会事務事業評価について					
日付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金額	備考
7月12日	東伏見	高田馬場	西武新宿線	13.3	237	全てIC乗車券利用
	高田馬場	東京	JR山手線	14.4	17,280	往復割引乗車券 東京都区内⇄加古川
	東京	京都	新幹線	513.6	5,390	特急券・座席指定券 往復割引乗車券に含む
	京都	大津京	JR湖西線	10.9	240	往復割引乗車券に含まず
	大津京	大津	JR湖西線・琵琶湖線	9.9	200	往復割引乗車券に含まず
	日計				562.1	23,347
7月13日	大津	京都	JR湖西線	10.0	200	往復割引乗車券に含まず
	京都	加古川	JR湖西線他	115.0	0	往復割引乗車券に含む
	加古川	西明石	JR神戸線	16.3	0	往復割引乗車券に含む
	西明石	東京	新幹線	612.3	5,810	特急券・座席指定券のみ
	東京	高田馬場	JR山手線	14.4	0	往復割引乗車券に含む
	高田馬場	東伏見	西武新宿線	13.3	237	
日計				781.3	6,247	
小計				1,343.4	29,594	
日当	2,500円 × 2日				5,000	
宿泊費	15,768円 × 1日				15,768	(1泊2食付き)
合計					50,362	【変更後】

京王観光立川支店に44,248円(宿泊+往復乗車券+新幹線往復)支払い済み

議会運営委員会視察(田中 のりあき議員分) 【政務活動費】						
視察期間	平成30年7月12日・13日					
視察先	滋賀県 大津市					
視察目的	議会BCPについて					
視察先	兵庫県 加古川市					
視察目的	議会事務事業評価について					
日付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金額	備考
7月12日	ひばりヶ丘	池袋	西武池袋線	16.4	267	全てIC乗車券利用
	池袋	東京	JR山手線	12.3	17,280	往復割引乗車券 東京都区内⇄加古川
	東京	京都	新幹線	513.6	5,390	特急券・座席指定券のみ
	京都	大津京	JR湖西線	10.9	240	往復割引乗車券に含まず
	大津京	大津	JR湖西線・琵琶湖線	9.9	200	往復割引乗車券に含まず
	日計				563.1	23,377
7月13日	大津	京都	JR湖西線	10.0	200	往復割引乗車券に含まず
	京都	加古川	JR湖西線他	115.0	0	往復割引乗車券に含む
	加古川	西明石	JR神戸線	16.3	0	往復割引乗車券に含む
	西明石	東京	新幹線	612.3	5,810	特急券・座席指定券のみ
	東京	高田馬場	JR山手線	14.4	0	往復割引乗車券に含む
	池袋	ひばりヶ丘	西武池袋線	16.4	267	
日計				784.4	6,277	
小計				1,347.5	29,654	
日当	2,500円 × 2日				5,000	
宿泊費	15,768円 × 1日				15,768	(1泊2食付き)
合計					50,422	【変更後】

京王観光立川支店に44,248円(宿泊+往復乗車券+新幹線往復)支払い済み

領収書添付用紙

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

整理番号

調査研究費		【内容説明欄】 7/2 - 7/3 大津市及w 加古川市 行政視察 宿泊費 + 往復乗車券 + 新幹線往復費 ¥44,248 × 3名 = ¥132,744-
視察研修費		
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

領収証 Receipt

No. 05C-032499
G000229792

自由民主党西東京市議団 様

¥132,744-

但し、政務活動費

印紙税申告納
付につき四谷
税務署承認済

領収内訳: 2018年07月03日 上記正に領収いたしました。

現金 132,744円 京王観光株式会社
取扱窓口: 立川支店
TEL. : 042-525-3991

部署印	扱印

部署印のないものは無効です

旅 京王観光

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1 金 額 3,402 円
- 2 支 払 先 西武鉄道、JR西日本
- 3 件 名 議会運営委員会視察同行 滋賀県大津市・兵庫県加古川市
- 4 支払年月日 平成30年7月12日から13日
(3名分)

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 自由民主党西東京市議団
代 表 者 保 谷 なおみ (印)

自民党西東京市議団会派視察報告書

平成30年7月12日滋賀県大津市では「議会 BCP について」、

13日兵庫県加古川市では「議会事務事業評価について」視察しました。

滋賀県大津市

大津市は、667年に天智天皇が近江大津宮に都を移して以来、琵琶湖を支配する要衝として、また東海道五十三番目の宿場町として栄えてきました。

大津市は、明治31年の市政施行以来、平成10年10月に市制100周年を迎え、平成30年には、市政120年目にあたります。

これまで昭和7年に滋賀村、昭和8年に膳所町、石山町、昭和26年に雄琴村、坂本村、下阪本村、大石村、下田上村、昭和42年に瀬田町、堅田町と合併し、近畿の中核都市としての都市基盤整備を整えながら、平成18年3月20日、平成の大合併の流れの中、「志賀町」と合併、「新・大津市」がスタートしました。また、平成17年の国勢調査において30万人を突破、平成21年4月には中核都市へと移行し、より市民に身近なところで行政サービスが提供出来る様になったそうです。

琵琶湖の南端に位置し、前方には近畿の水瓶である琵琶湖、後方には比良比叡の山並みがそびえ立ち、自然環境には大変恵まれています。

また京都、奈良に次ぐ文化財の宝庫であり、世界遺産に登録された「比叡山延暦寺」、紫式部が源氏物語の構想を練ったと伝わる「石山寺」、三井の晩鐘で知られる「三井寺」、松尾芭蕉の永眠地「義仲寺」など、数多くの観光資源にも恵まれています。

平成15年10月10日には、全国で10番目となること指定を受け、現在は、大津の景観

を考える各種事業の展開や、「湖都・大津」の PR 等、積極的な事業推進を図っているとの事です。

議会 BCP について ～二元代表制を災害から守るために～

大津 BCP とは、大規模地震などの非常時に行うべき議会や議員の役割、行動方針などを定めた業務継続計画 (Business Continuity Plan) をいいます。

計画策定の経緯は、平成23年3月の東日本大震災の際に、災害時の議会の在り方について議論がなされ、平成24年8月の市南部豪雨災害を受け、大規模災害に備えた体制整備の必要性が議論されました。

そして平成25年5月の議員研修会において、BCP の必要性が認識され、平成25年6月に大津市議会として、議会 BCP 策定を決定しました。

議会 BCP の想定する災害は、地震であれば震度 5 強以上、風水害であれば台風、暴風、豪雨、洪水、土砂災害などで局所的、又は広範囲な災害が発生した場合、又はその恐れがある場合、その他として自然災害の他、大規模火災などの大規模な事故、原子力災害、新型インフルエンザなどの感染症、大規模テロなどで、大きな被害が発生した場合、又は発生する恐れがあるものと規定され、概ね執行部の災害対策会議が設置される場合に、議会 BCP は発動されるそうです。

議会と市 (災害対策本部) との関係は、議会は自らの役割を踏まえ、災害情報の迅速な収集等に当たり、議会内の体制整備と併せて、市との協力・連携体制を構築するとの事です。

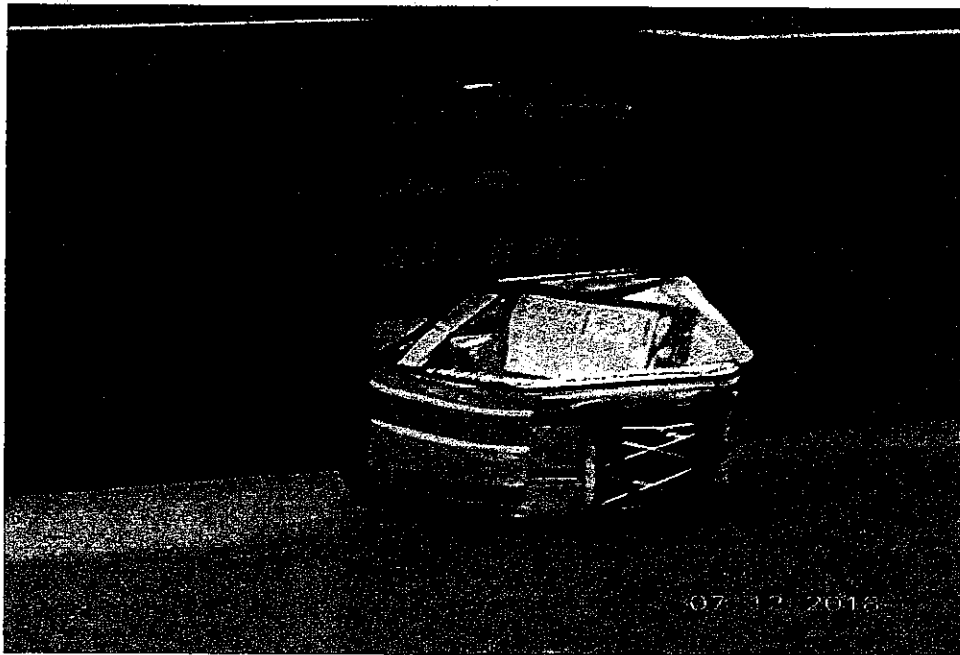
議会及び議会局職員には、サバイバルローラーバックが配置されています。

中身は、3日間の飲料水や、食料をはじめ携帯ラジオ、簡易トイレ、防寒用具など緊急時の必需品一式をまとめた防災用品のセットです。

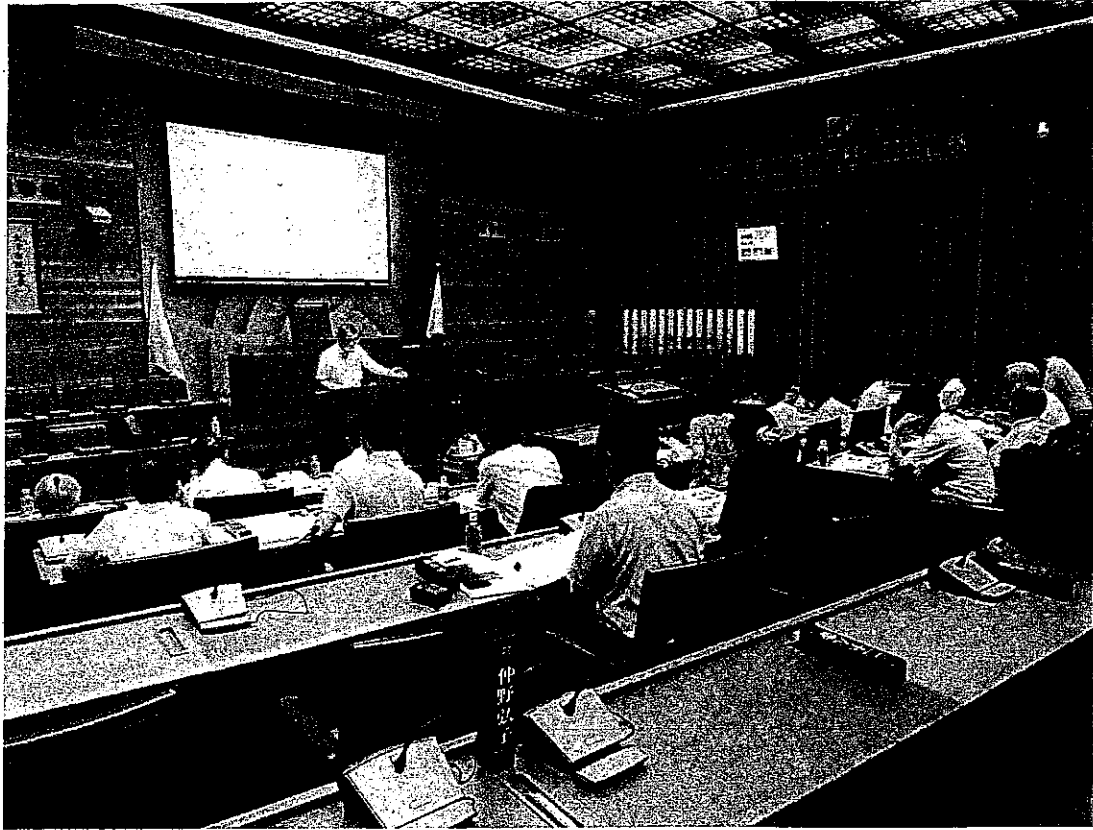
22リットルと大容量で、保冷・保温機能を備え、かつ、貯水タンクとしても活用できるそうです。

議会BCPは、会派の枠を超えた活動であり、4年前からはタブレットを使って情報の送信を行っているそうです。

西東京市議会でも、災害時における初期対応の高度化や、市民ニーズを的確に反映した早期の復旧・復興を図るためにも、こうした取り組みについて、調査研究すべきと思われる。



サバイバルローラーバック



兵庫県加古川市

加古川市は、兵庫県南部の播磨灘に面し、播磨平野を貫流する加古川の河口に広がる豊かな自然に囲まれた地域に発達した市です。

加古川地方の歴史は古く、万葉集に「印南野」として表記がみられます。

播磨の穀倉地帯として知られ、江戸時代には本陣が置かれ、宿場まちとして栄えるとともに、播磨灘・加古川の舟運物資の集積地として発展しました。

明治維新後は、山陽鉄道、播磨鉄道が開通し、東播磨地域の交通の中心地となり、産業も明治18年の製肥工場、明治31年に繊維工場が立地することにより、それまで産業の中心であった農業・漁業から、繊維工業・化学工業が産業の中心となりました。昭和25年に加古川町、神野村、野口村、平岡村、尾上村の5町村が合併して市制をしき、田園文化都市としてスタートしました。

翌年には別府町、昭和30年に八幡村、平荘村、上荘村、昭和31年に東神吉村、西神吉村と米田町の一部を合併し、市域を広げていきました。

昭和39年に工業整備特別地域に指定されてから、昭和40年以降、臨海部へ阪神工業地帯からの重工業の企業進出が相次ぎ、軽工業のまちから重工業のまちへと変貌を遂げました。

なかでも大規模製鉄所の進出は市の産業に大きな影響を与え、以後、鉄鋼業が市の中心産業となり、この工業化を背景に宅地開発が進み、昭和40年には10.2万人にすぎなかった人口が、昭和50年には16.9万人に達し、昭和40年～50年にかけての人口の伸び率は年6.6%を示すなど、急激な人口増加を示しました。

更に昭和54年に志方町と合併し、平成に入り、工業化による成長も一段落し、現在

の人口は約27万人で安定しています。

平成12年に「ウェルネス都市」を宣言し、平成15年に JR 山陽本線加古川駅周辺の高架切替、平成16年には JR 加古川線の高架切替が完了し、南北に渡る交通の利便性が飛躍的に向上しました。平成17年3月には新しい加古川駅舎がオープンし、東播地域の中核都市として、「ひと・まち・自然を大切にし、ともにたくましくまちづくり」を基本理念に、「いつまでも住み続けたいウェルネス都市」を目指して、躍進を続けています。

加古川市議会事務事業評価の実施状況について

加古川市議会事務事業評価の目的と背景は、議会は市政執行に対する評価・監視機能としての決算審査を行っていますが、その機能をさらに強化するため、市民の代表者である議会が、決算審査の一環として事務事業評価を行い、更に次年度の予算への提言を行うことにより、予算と決算の審査に連動性を持たせるため、平成27年度から実施しているとの事です。

平成27年度は、市の公開事業評価と同様の15事業について評価を行いました。平成28年度からは、各会派で候補事業を抽出し、議会運営委員会で選定し、対象事業数は各常任委員会1事業程度となりました。

平成27年度は、市の公開事業評価と同じ区分で評価し、1. 廃止 2. 抜本的見直し 3. 要改善 4. 現行通り 5. 拡充でしたが、平成28年度から予算規模の増減に着目した議会独自の評価区分、1. 廃止 2. 縮小 3. 現行通り 4. 拡充を導入しました。

各常任委員会での質疑は、要旨を事前に理事者に通告し、各委員は所属委員会が

所管する対象事業に対する質疑を質疑通告書に記入し、期日までに事務局に提出します。審査時間は1事業につき60分程度で、議員の質疑は25分程で、各議員は議会事務事業評価シートに記入します。

委員会の審査報告は、委員長が委員会審査報告及び事務事業評価結果票を作成し、議長に提出します。

各常任委員会の結果を受けて、会派代表者会において決議案を作成し、本会議最終日に会派代表者が提案者となって上程し、議決されれば市長に送付されます。

加古川市議会が議会事務事業評価を始めた経緯は、一般市民と議員の考え方の乖離や議会の考え方が予算編成に反映されること、議員間の意見交換の場としても活用されているとの事です。

執行部は、議会から出された議決は尊重し、何年か掛けて実施しているそうです。

また結果がどのように予算に反映されているのか、どのように検証しているのか、予算編成での確認や、予算特別委員会での進捗状況の確認を行っているそうです。

こうした議会による事務事業評価について、西東京市議会としても検証していくべきであると感じました。



領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号

2

調査研修費		【内容説明欄】 10月11日から10月12日 会派行政視察(浅野高司議員) 新潟県長岡市 「第80回全国都市問題会議」 合計 43,754円
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

【留意事項】

1. この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

視察者名簿(自由民主党西東京市議団)

	氏 名	ふりがな	備 考
1	浅野高司	あさのたかし	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

第80回全国都市問題会議 浅野 高司議員 旅費

期 間 平成30年10月11日(木)～12日(金)

会 場 新潟県 長岡市 シティホールプラザ アオーレ長岡

会議名 「第80回全国都市問題会議」

日 付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金 額	備 考
10月11日	保谷	池袋	西武池袋線	14.1	237	
	池袋	上野	JR山手線	8.7	8,740	乗車券4,750円 特急券3,990円
	上野	長岡	JR新幹線Maxとき 305号 新潟行き	267.0		
	1日目 合計			289.8	8,977	
10月12日	長岡	上野	JR新幹線とき 368号 東京行き	267.0	8,740	乗車券4,750円 特急券3,990円
	上野	池袋	JR山手線	8.7		
	池袋	保谷	西武池袋線	14.1	237	
	2日目 合計			289.8	8,977	
合 計 (距離・交通費)				579.6	17,954	(直行・直帰)
日 当	2,500 円 × 2 日				5,000	
食事料	夕食費 1,800 円 × 1 食				1,800	
宿泊費 (1泊朝食付き)	9,000 円 × 1 泊				9,000	長岡ターミナルホテル
参加費					10,000	別途 JTBA振込
合 計					43,754	

474

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号

2

調査研究費		【内容説明欄】 都市問題会議 新幹線代 ￥17,690-
視察研修費		
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

領 収 証

35516 A

RECEIPT

【領収書等添付欄】

自由民主党西東京市議員 様

2018 年 10 月 2 日

(ご注意)
本証に、営業所名、営業所印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします

金額										7	9	5	0	0
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---

2750

ただし10/10 東京-長岡 JR
乗車代として

- ①現金
- 2.小切手
- 3.振込
- 4.クレジット() (カード)
- (¥)
- 5.その他()

上記金額正に領収いたしました。

50,000円以上
収入印紙

日本旅行サービス株式会社

NS田無アス 4960 代表者名

責任者印

領 収 証

06242 A

RECEIPT

自由民主党西東京市議員 様

2018 年 09 月 14 日

(ご注意)
本証に、営業所名、営業所印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします

金額										7	8	1	9	0
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---

2200

6990

ただし10/11.12 藤-長岡 JR
特急代金として

- ①現金
- 2.小切手
- 3.振込
- 4.クレジット() (カード)
- (¥)
- 5.その他()

上記金額正に領収いたしました。

【留意事項】

- この用紙は、該当す。ホームページへ掲載してください。
- この【留意事項】

50,000円以上
収入印紙

日本旅行サービス株式会社

NS田無アス 4960 代表者名

責任者印

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号

2

調査研究費		【内容説明欄】 都市問題会議参加費 + 宿泊費 ¥19,000-
視察研修費		
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

ご利用明細 三菱UFJ銀行

ご利用いただきありがとうございます。

このご利用明細は必ずお持ち帰りください。

年月日	取扱店番	お取引内容
300925	██████████	お振り込み
受付通番	銀行番号	支店番号
02030005	██████████	██████████
		お取引金額
*****		¥19,000*

お取扱い できない場合	残高	***
時刻	振込手数料	おつり
11.59	¥270*	
お振込先・お受取人 ご依頼人	銀行 支店 普通 カ)JT B様 シ"ユウミンシユトウニシトウキヨクシキ"ダツ ハマナカ ノリカタ様	

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

自由民主党西東京市議団 様

請求書番号 134
発行日 2018/09/13

請求書

株式会社JTB
長岡支店
第80回全国都市問題会議係
支店長 大崎 則彦
担当 [Redacted]
TEL 0258-35-3315

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
2018/09/28 までに、お支払いただきますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご請求内訳	人数	金額
第80回全国都市問題会議 会議参加費@10,000円	1	¥10,000
合計	1	¥10,000
内入金額		

ご請求額

¥10,000

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座	【銀行名】 [Redacted] 銀行	【支店名】 [Redacted] 支店
	【預金種別】 普通	【口座番号】 [Redacted]
	【口座名義】 株式会社JTB カシエイイービー	【お客様番号】 134

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。



自由民主党西東京市議団 様

請求書番号 134
発行日 2018/09/13

請求書

株式会社JTB
長岡支店
第80回全国都市問題会議杯
支店長 大崎 剛
担当 [Redacted]
TEL 0258-35-3315

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
2018/09/28 までに、お支払いいただきますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご請求内訳	人数	金額
10/11(木) 長岡ターミナルホテル シングル @9000	1	¥9,000
合計		¥9,000
内入金額		

ご請求額

¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 [Redacted] 銀行
【預金種別】 普通
【口座名義】 株式会社JTB
カソエイビー

【支店名】 [Redacted] 支店
【口座番号】 [Redacted]
【お客様番号】 134

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

領収書添付用紙

2

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号

調査研究費		【内容説明欄】
視察研修費		
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB

C No 021443

自由民主党西東京市議団 様

株式会社JTB長岡支店

〒940-0066 新潟県長岡市東坂之上

三井生命長岡ビル



2018年10月24日

下記の金額正に領収いたしました。

¥9,000*

但し 10月11日 宿泊代金として

出納責任者	取扱者

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに複写記入式でないものは無効です。

収 入
印 紙

【留意事項】


- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1 金 額 474 円
- 2 支 払 先 西武鉄道
- 3 件 名 第80回全国都市問題会議参加旅費
- 4 支払年月日 平成30年10月11日から12日

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 自由民主党西東京市議団
代 表 者 保 谷 なおみ  印

第 80 回全国都市問題会議・参加報告

【報告者・参加者】自由民主党西東京市議団 浅野高司

日時 平成 30 年 10 月 11 日 (木)・12 日 (金)

場所 シティホールプラザ・アオーレ長岡 (新潟県長岡市)

テーマ 市民協働による公共の拠点づくり

内容

・ 第 1 日 [10 月 11 日・木]

09:30 開会式

09:50 基調講演 東京大学史料編纂所教授 本郷和人 氏

11:00 主報告 新潟県長岡市長 磯田達伸 氏

13:10 一般報告 三重県津市長 前葉泰幸 氏

14:40 一般報告 建築家・東京大学教授 隈 研吾 氏

(筑波大学客員教授 森 民夫 氏 ※前長岡市長)

(アートディレクター 森本千絵 氏)

17:00 終了

・ 第 2 日 [10 月 12 日・金]

09:30 パネルディスカッション

[コーディネーター]

明治大学政治経済学部地域行政学科長・教授 牛山久仁彦 氏

[パネリスト]

東京理科大学理工学部建築学科教授 伊藤香織 氏

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長 奥山千鶴子 氏

長岡市国際交流センター地球広場 センター長 羽賀友信 氏

埼玉県和光市長 松本武洋 氏

高知県須崎市長 楠瀬耕作 氏

11:50 閉会式

※次期開催市：鹿児島県霧島市 (平成 31 年 11 月 7 日・8 日)

【議題解説】

近年、市民の能力や自己実現に対する意欲などを背景に市民活動が活発化している。また、自治体においても市民協働の推進が重要な政策課題となって久しい。

このような中、全国の自治体では、市民活動の自由・自発性と行政活動の公平性といった互いの特長を生かした市民協働の取り組みが進められ、いかに市民と行政の両者が協力して魅力的なまちづくりを進めていくかが重要なテーマとなっている。

また、市民協働を実践する場「公共の拠点」が必要とされるが、行政が一方的に公共の拠点を整備するだけでは市民の多様なニーズに応えることはできず、市民活動や協働の充実につながらないなどの課題も顕在化している。

市民協働による公共の拠点づくり、市民協働による地域づくりが進められるよう、「市民協働に携わる人材の育成」「公共の拠点となる場所の活用」や「まちづくりでの取り組み」を念頭に、市民や市民団体の活動とこれに対する行政の連携・支援のあり方、さらには今後の地域社会のあり方などについて検証・議論する。

【基調講演】「地方分権へのまなざし」 東京大学史料編纂所教授 本郷和人氏
中世政治史、古文書学を専門とする氏独特の歴史観から、これからの政策の方向性を考察。

- ・ 江戸時代には、それぞれの藩・地域において教育があり、英才が育てられた。
- ・ 黒船が生み出した「明治維新」。世襲にとらわれず才能を登用。立身出世をよしとし、各地の英才が東京に集結。天皇を核とする強力な中央集権が図られ、列強に対抗。
- ・ 明治の達成は高く評価。それは 300 万人の犠牲を生んだ太平洋戦争に直結したのか否か (⇒判断留保)。
- ・ 緩やかな日本の歴史は「黒船 (変革の機会)」の到来がないと弛緩する。時に「黒船」の来襲により、変革を志す者が登場。
- ・ 現代の「黒船」とは人口減少社会。克服には、明治の中央集権とは逆の地方の自治権の強化が必要。地方のボトムアップが新しい日本を支える。

【主報告】「長岡市の市民協働」～新しい米百俵～ 長岡市長 磯田達伸氏

若者が活躍できるまちづくりに取り組み、山積する地域課題に新しい技術や発想による解決を目指す「長岡版イノベーション」を進める長岡市の市民協働に関する事例紹介。

▼長岡市の紹介

新潟県の中央部に位置し、県内2番目の人口を有する平成の大合併により誕生した新・長岡市。市の中央部に信濃川、東西に東山連峰と西山丘陵、海岸部には寺泊地域を擁する。長岡まつり大花火大会、国指定重要文化財「火焰土器」、全国2位の酒蔵数を誇る日本酒、長岡発祥の錦鯉など地域資源多数。平成16年の新潟・福島豪雨、中越地震からの復興へのまちづくりを進めてきた。

牧野家初代長岡藩主・忠成よる開府から400年、北越戊辰戦争から150年と節目を迎えた平成30年。

北越戊辰戦争に敗れ、三根山藩から贈られた百俵のコメを教育の大切さから国漢学校設立に充てた「米百俵」。「何事も基本は人。人づくりこそすべての根幹」との考え方は、現在にも繋がる。また、同時期に培われた「士民協働」でのまちづくりの気概によって、殖産興業のイノベーションを創り出すことで復興を遂げ、今ある長岡の礎を築く。

▼長岡市の市民協働

「市民が主役、行政は黒子」との精神で進める長岡の市民協働。多くの検討委員会議論、ワークショップ、市民の声を反映し、平成24年に市民協働条例を制定。同年に開設した「ながおか市民協働センター」は、市とNPO法人が協働で運営し、市民の自発的な活動や団体の立ち上げ・運営の相談を受け、団体間の連携をコーディネート。市民と行政、市民同士が互いの長所を持ち寄り、補い合うことで課題解決にあたる。

※その他…花いっぱい運動、中越地震フェニックス花火、協働による被災地支援、小説「峠」の映画化など

屋根付き広場「ナカドマ」(＝中土間)を中心とするアリーナ、市民交流スペース、市役所、議会などをもつ複合施設・シティホールプラザ「アオーレ長岡」を平成24年にオープン。新国立競技場の設計者、隈研吾氏が設計を担当。施設全体の稼働率は84.9%(平成29年度実績)、イベント数654件のうち民間

主体は 557 件、来場者数 130.1 万人。市民の自由な発想による活動の場として盛況を誇る。

※その他…周辺への波及効果は、空き店舗 35%減・店舗数 1.2 倍・駐車場利用 1.4 倍。

▼長岡市の人づくりと未来への投資

大きな変化の時代を乗り越えるため、まちの活力維持や人口減少社会の克服を目指した長岡版総合戦略「長岡リジュベネーション～長岡若返り戦略～」を平成 27 年に策定。その推進組織である産官学が参加する「ながおか・若者・しごと機構」を設立し、若者自らが長岡の魅力発信や街の活性化に取り組む。

変化の時代を迎え、様々な困難課題に直面する中、市政のあらゆる分野に先端技術や新たな発想を取り入れる「長岡版イノベーション」を推進し、「米百俵の精神」が息づくご当地として、次の 100 年を創り出す人づくりと未来への投資に取り組み、市民の暮らしの安定と活力ある長岡の実現に向けて前進していく。

【一般報告】「市民との対話と連携で進める津市の公共施設マネジメント」

津市長 前葉泰幸氏

『「まちづくり」から「暮らしづくり」へ』をテーマに市政を展開する津市の公共施設マネジメントに関する事例報告

▼住民自治の伝統

明治 22 年に市制施行した歴史ある津市では、まちの発展の過程で自分たちのことは自ら決める自治の伝統を得て、現代においても住民の市政への関心が高い。

▼公共施設マネジメントにおける市民との意思疎通

平成の大合併で 10 市町村の合併により誕生した新・津市においても、住民自治の伝統を踏まえ、市民との意思疎通に留意した公共施設マネジメントを進める。

市民とのコミュニケーションは、「合併を決断した住民が目指した公共施設を作り上げる」、「公共施設の不都合な真実をあぶり出し、向き合え」、「市民との対話から聞き取った思いや願いを反映した公共施設を作れ」、「すべてをオープンにし、とことん議論して公共施設を再編せよ」との 4 つのミッションにより、目指す目標や進める方向性の変化に対応する取り組みを展開。施設再編に向けた住民

理解を得るために、何度でも足を運び、顔を合わせ、汗をかき、時間をかけてねばり強く話を聞き続けるという、地道な努力を重ねた。

▼これからの公共施設マネジメント

主役は市民。津市の資産である公共施設の姿を決めるのは主役である市民。引き続き、市民の思いを把握し、その願いをかなえる公共施設マネジメントの実現に向け、市民との対話と連携により取り組む。

※質疑応答 ○対話のコツ：都市部は露出度、地方部はヒザつめの手法。○二次的な効果は：住民が声をあげれば通じる行政の実現。地域懇談会は2回目には解決策を示し、職員の「逃げ」を許さない。○職員はきつくないか：業務として解決策を見つけるためにまずは地域に入る。○情報発信のタイミングは：広報課が頻繁に市長室に入り取りまとめる。広報課の頑張りが必要。○学校統廃合の情報公開のタイミング：親世代と高齢世代の対立構造を教委がつくる。常に情報を出し続け潮目が変わるタイミングを逃さない。○跡地問題への対応は：売却方針や活用など民間提案もあるが入札で売却。○議会と首長の関係：権能を超えて対応しない。議会に先に情報を出し、議案で対応。政治への関心が高まる。

【一般報告】「場所の時代」 建築家・東京大学教授 隈 研吾氏

本会議の主会場となる「アオーレ長岡」のほか、新国立競技場の設計など多数のプロジェクトに携わる隈氏の建築哲学の披歴と手掛けた公共建築の事例紹介。

場所が主役とする時代が到来し、それに呼応する形で「DOMA（土間）」をイメージした広場を主役とする「アオーレ長岡」の設計を行う。

○その他紹介された事例 根津美術館、歌舞伎座、浅草文化観光センター、富山市 TOYAMA キラリ、豊島区役所、富岡市役所、新品川駅、スコットランド・デザイン美術館、フランス・ブザンソン芸術文化センター、パリ・サンドニプレイエル駅など

※捕捉報告として、森民夫氏（筑波大学客員教授・前長岡市長）による「アオーレ長岡発注者として」及び、森本千絵氏（アートディレクター・(株)goen 主宰）による「アオーレ長岡での市民協働の実践」がある。ともに本報告事例の経験談や自身の取り組み事例紹介などがなされた。

【パネルディスカッション】「市民協働による公共の拠点づくり」

コーディネーター 明治大学政治経済学部地域行政学科長・教授 牛山久仁彦氏

発表内容・パネリスト（発表順）

①「人・モノ・金の好循環を目指して」須崎市長 楠瀬耕作氏

3.11による津波の襲来、南海トラフ地震の被害想定。実質公債費率ワーストの状況や人口流出、消滅都市ランクインなど、市内にネガティブな話題が多い中、シャッター商店街の活用やマスコットキャラクター「しんじょう君」のゆるキャラグランプリ獲得など、明るい材料も。

持続可能なまちづくりに向けて、○地域資源としての人材育成事業「須崎未来塾」、○市街地再生に向けた「空き家の利活用（地域おこし協力隊員による運用）」、○住民自治を目指した地域活動拠点「集落活動センターあわ」の設置など、交流人口の増大を目指す取り組みを進める。

②「地域包括ケアを支える新たな拠点づくり」和光市長 松本武洋氏

東京都の隣町として立地から、昼間には3万人の市民が都内で働いている。基地の跡地に研究施設が多数存在するほか、自然・農地も多く住みやすいまちで人口は増加傾向。高齢化率16.9%、介護認定率9%台と元気高齢者も多く、健康長寿のまちづくりを進めている。

市民協働の拠点として、従来からコミュニティーセンターと地域センターで市内に展開、利用者団体の集合体・管理協力委員会が管理を実施するなど地域活動の受け皿として機能。新たな展開として、ONPOが運用する高齢者の居場所、健康学習の場「まちかど健康相談室」、○乳幼児と保護者が集い、地域子育て支援拠点として実施し、わこう版ネウボラも始まり子育て世代包括支援センターとしての役割も。○地域包括支援センターにも交流施設の設置をおこなう地域の活動拠点に。このような取り組みで地域へのロイヤルティを高める。

③「シビックプライド醸成のコミュニケーションポイントから考える拠点」

東京理科大学理工学部建築学科教授 伊藤香織氏

都市に対する市民の誇りを「シビックプライド (civic pride)」と呼ぶ。

郷土愛とニュアンスを異にするのは当事者意識に基づく自負心であるところ。このシビックプライド、イギリスでは都市の規範であったと言われるが、現代においては、政治参加やボランティア活動、地域イベントによる積極的社会参加、地域プロスポーツチームの応援などがその表れの例として挙げられる。また、建築や公共空間、デザインなどにも表れてくる特性を有し、市民と都市の接点となるものを「コミュニケーションポイント」と呼ぶ。

ドイツ・ハンブルクの「ケッセルハウス」は、都市情報センターとして展示、ディスカッションやイベント開催、現場見学ツアー拠点の機能を持ち、カフェも併設され来訪者のいこいの場としてシビックプライドセンターと呼ばれる。まちの開かれた居心地の良い場所をつくり、目的を持つ人以外の目にも触れ、何らかの要素を感じる接点を用意する、これからの時代はそのような拠点づくりが求められている。

④「子育て支援から見た公共の拠点づくり」

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長 奥山千鶴子氏

同団体で行った全国アンケートでは、自分の生まれ育った土地以外で子育てをする母親は全国平均で72.1%と子育て家庭の流動性は高い状況。この「アウェイ育児」の状況は孤立した子育てに繋がりがやすい。

所属するNPO法人では、地域子育て支援拠点事業としての「つどいの広場事業」を横浜市から受託。市が進める協働の取り組みにも連動し、子育て支援とともに施設や活動のネットワーク化や人材育成にも取り組む。これからも各地域の課題共有と具体的な事業の立ち上げを担う子育て支援団体として尽力する所存で、市町村にはそのチャンスと育成を望む。

⑤「長岡の市民主体のまちづくり」

長岡市国際交流センター地球広場 センター長 羽賀友信氏

長岡の基盤・もともとの考えの根底には、山本五十六も座右の銘とした長岡藩・藩是の「常在戦場」がある。まちが起きるも人、転ぶも人、教育第一主義だ。過疎化・高齢化・被災地の「三重苦」に喘いできた長岡では「自分たちの事は自分たちで」とのことから、NPOがいくつも立ち上がり、協働の取り組み

を大地震が加速化した格好にもなった。

平成 23 年、東日本大震災の支援のため「長岡協働型災害ボランティアセンター」がスタート。専門性の高い団体と社会福祉協議会が連携して緊急支援を行う。同年、市内の 3 大学等と市が連携した「まちなかキャンパス長岡」が設置され、「まちなかカフェ」、「まちなか大学・大学院」、「まちづくり市民研究所」など学びのプロセスを持つ。市内 13 カ所の「子育ての駅」も官民協働で運営され子育てを孤立させない手厚い対応を行っている。これら取り組みも含め、「アオーレ長岡」などの設置を契機として市協働の活発化が進行している。

今後は、産・官・学・金の連携をさらに深めたビジョンと政策の立ち上げが望まれる。それらの自由な発想のもと市の中心部に本年オープンした「NaDeC BASE」でのイノベーションにより、未来の起業家の育成にチャンスを与えてくれることを期待している。

【まとめ】

今回の都市問題会議では、市民協働による公共の拠点づくりの取り組みについて、長岡市での事例をはじめ、各専門家や活動団体の経験や研究成果の講演、報告等がなされた。これらの取り組みは様々で、選択する手法やその組み合わせは地域の実情に応じた千差万別のものであった。しかしながら、本市でも取り組むべき事例、また活かすことのできる事例も散見され、行政需要が多様化する中での協働のあり方や新しい公共としての取り組みなどの方向性を見定めるうえでの貴重な「道しるべ」となった。

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号

3

調査研修費		【内容説明欄】 11月14日から11月15日 会派行政視察(浅野高司議員) 栃木県宇都宮市 「第13回全国市議会議長会研究フォーラム」 合計 32,354 円
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

視察者名簿(自由民主党西東京市議団)

	氏 名	ふりがな	備 考
1	浅野高司	あさのたかし	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

第13回全国市議会議長会研究フォーラム 浅野 高司議員 旅費

期 間 平成30年11月14日(木)～15日(金)

会 場 栃木県 宇都宮市文化会館

会議名 「第13回全国市議会議長会研究フォーラム」

日 付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金 額	備 考
11月14日	保谷	池袋	西武池袋線	14.1	237	
	池袋	宇都宮	JR湘南新宿ライン	101.8	1,940	
	1日目 合計			115.9	2,177	
11月15日	宇都宮	池袋	JR湘南新宿ライン	101.8	1,940	
	池袋	保谷	西武池袋線	14.1	237	
	2日目 合計			115.9	2,177	
合 計 (距離・交通費)				231.8	4,354	✓
日 当	2,500 円 × 2 日				5,000	
食事料	夕食費	1,800 円 ×	食		0	
宿泊費	上限額	16,000 円 ×	1 泊		16,000	
参加費					7,000	
合 計					32,354	

領収書添付用紙

3

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号

調査研究費		【内容説明欄】 第13回全国市議会議長会研究フォーラム 参加費 ¥7,000-
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

【留意事項】

1. この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

3

0513

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

平成30年11月22日

自由民主党西東京市議団 御中

参加費領収書

第13回全国市議会議長会研究フォーラム実行

委員長 山田

東京都千代田区平河町2-4-2

金 7,000 円

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

参加代金として

平成30年11月14日・15日開催 (宇都宮市)



自由民主党西東京市議団様

請求書番号 0513

発行日 2018/10/24

請求書

株式会社JTB
 宇都宮支店
 第13回全国市議会議長会
 研究フォーラム in 宇都宮
 担当
 TEL 03-5396-8165

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
 このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

11月8日(木) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
 お早めにご連絡をお願いいたします。

0513

ご請求内訳	人数	金額
参加代金		¥7,000
合 計		¥7,000
内 入 金 額		

ご請求額

¥7,000

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 銀行
 【預金種別】 普通
 【口座名義】 株式会社JTB
 カジエティービー

【支店名】 支店
 【口座番号】
 【お客様番号】 0513

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

第13回全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮

0513

浅野 高司 様

0513-2

手配内容確認書

今回お申込を承り、お手配させていただいている内容は以下のとおりです。

●フォーラム

開催日	参加会場	参加代金
11/14(水)・15(木)	大ホール	¥7,000

●宿泊プラン

ご利用日	ホテル名	部屋タイプ	宿泊代金
11/13(火)			
11/14(水)	ホテルアール・メッツ宇都宮	シングル	¥17,000
11/15(木)			

※1泊朝食付(税金・サービス料込)

●視察プラン

ご利用日	コース名	視察代金

●JR

ご利用日	区間	JR代金

※宿泊施設の詳細、及び視察コースの詳細及び行程は同封の「参加のご案内」をご参照ください。
 ※この書面は、宿泊施設でのチェックインの際にフロントにご提示ください。また、視察コース参加の際にはJTB係員にご提示いただきますようお願い申し上げます。
 ※JR券をお申込の方は、同封のJR券を事前にご確認ください。尚、ご予約の指定席に変更が生じる場合は「みどりの窓口」にてお手続きをお願いします。ただし、乗車変更は1回に限り有効です。

〒170-0013
 東京都豊島区東池袋3-23-14 6F
 (株)JTBビジネスネットワーク内
 【第13回全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮】デスク
 電話:03-5396-8165 FAX:03-5396-8140
 メール:shigikai2018utsunomiya@jbn.jtb.jp
 営業時間:9:30-17:30(土日祝休)

領収書添付用紙

3

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号

調査研究費		【内容説明欄】
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

No.05130-02

領収証 RECEIPT

J T B 宇都宮支店

宇都宮市池上町4-1

TEL : 028-614-2001

平成30年11月26日

自由民主党西東京市議団 御中

下記の金額正に領収いたしました。

¥17000*

出納責任者	取扱者

第13回全国市議会議長会研究フォーラム
但し、宿泊代金として

フォーラム

領収個所名及び領収者印の無いもの並びに金額訂正のものは無効です。

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。



自由民主党西東京市議団様

請求書番号 0513

発行日 2018/10/24

請求書

株式会社JTB
 宇都宮支店
 第13回全国市議会議長会
 研究フォーラム in 宇都宮
 担当
 TEL 03-5556-8165

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
 このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

11月8日(木) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
 お早めにご連絡をお願いいたします。

0513

ご請求内訳	人数	金額
宿泊代金		¥17,000
合 計		¥17,000
内 入 金 額		

ご請求額

¥17,000

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 銀行

【預金種別】 普通

【口座名義】 株式会社JTB
 カジエイビー

【支店名】 支店

【口座番号】

【お客様番号】0513

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1 金 額 4,354 円
- 2 支 払 先 西武鉄道、JR東日本
- 3 件 名 第13回全国市議会議長会フォーラム参加旅費
- 4 支払年月日 平成30年11月14日から15日

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 自由民主党西東京市議団
代 表 者 保谷 なおみ 印

第13回全国市議会議長会研究フォーラム

【報告者・参加者】自由民主党西東京市議団 浅野高司

日時 平成30年11月14日(水)・15日(木)

場所 栃木県宇都宮市 文化会館

主催 全国議長会、後援 総務省

内容

・第1日目 11月14日(水)

13:00 開会式

13:20 基調講演 「地域共生社会」をどうつくるか 2040年を越える自治体のかたち

14:40 パネルディスカッション 議会と住民の関係について

16:50 終了

・第2日目 11月15日(木)

09:00 課題検討 議会と住民の関係について

11:00 閉会式

11:15 終了

第1日目 11月14日(水)

【基調講演】

「地域共生社会」をどうつくるか 2040年を越える自治体のかたち

中央大学法学部教授 宮本 太郎 氏

①自治体が直面する2040年問題 重量挙げ化と漏斗化の日本

人生100年時代となり定年退職はターニングポイント・中継点となった。しかし、就職氷河期世代は困窮化・高齢化し、高齢単身男性の孤立化により幸福感は広がっていない。

現役世代も進学コストや雇用の不安定化がもたらす非婚化、出生率低下で力を発揮できない。

支える世代・支えられる世代の分類型でいえば、現役と高齢の比率が「肩車型」というよりも「重量挙げ型」といえる。

人口移動は、漏斗のように地方から東京へと若年層が流出し一極集中は続く。

2040年には、地方では高齢化のピークを過ぎるが、現役世代もさらに減少し、東京圏では人口規模は維持するが、出生率は低く、さらに高齢化する。それぞれ違うかたちで持続可能性を問われる。

②ピンチをチャンスに、チャンスを実現にする道

2040年に896の消滅自治体が予測されているが、ピンチをチャンスに変えるか飲み込まれるかの分岐。誰もが出番のあるまち、多様な縁をつくるまちに。

③困窮と孤立を超えて「誰もが人材」のまちへ

「誰もが人材」を目指す。地域福祉のあり方を保護することから困難を抱えた人を元気にする事へと移行していく。

現行制度では、生活者困窮自律支援制度は、人材づくりの目指される形となると考えられる。

職場の間口を広げて共生の場をつくるユニバーサル就労を進める。包括支援の小中学校区の中の支え手・受け手を越えた関係性づくりをしていく必要がある。

④定年後の男性の地域デビュー支援でご当地を「生涯活躍のまち」へ

定年後男性の地域デビューを支援することが大切になる。高齢者の会力向上だけではなく、60代後半まで洞察力や社会適応力は伸びがある。

⑤新しい家族縁や新しい地縁をつくる

地縁・血縁そして社縁も衰退している。支え合い・介護をめぐる新しい形の必要縁(家族縁、地縁、仕事縁)という生涯出番のあるまちづくりが示された。

【パネルディスカッション】

議会と住民の関係について

コーディネーター

江藤 俊昭 氏 (山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授)

パネリスト

今井 照 氏 (公益財団法人地方自治総合研究所主任研究員)

本田 節 氏 (有限会社ひまわり亭代表取締役、食・農・人総合研究所リュウキンカ主宰)

神田 誠司 氏 (朝日新聞大阪本社地域報道部記者)

小林 紀夫 氏 (宇都宮市議会議長)

①今井 照 氏 (公益財団法人地方自治総合研究所主任研究員)

- ・合併による大規模化で地域が分断化され住民ニーズが汲み取りにくくなっているのでは。
- ・規模に関わらず、同じ市いうくくりで運用されている地方自治制度にも課題がある。
- ・国からの業務移譲で自治体に課せられた計画の策定が多数あり、行政の肥大化と政治上の非決定が進み、議会の立ち位置が難しい。

②本田 節 氏 (有限会社ひまわり亭代表取締役、食・農・人総合研究所リュウキンカ主宰)

- ・熊本県人吉市で活動している。闘病生活の後、地域づくり団体を始める。
- ・地産地消の郷土家庭料理の提供、グリーンツーリズムなどを推進している。
- ・熊本地震の経験から地域のネットワークの大切さを学び、支援に活動を実践した。

③神田 誠司 氏 (朝日新聞大阪本社地域報道部記者)

- ・ 10年来議会改革について取材し、記事にしている。
- ・ 議会は何をしているのか分かりにくく、民意を汲み上げる組織として機能しているのか。
- ・ 議会が住民の中に積極的に入り、住民意見を聞くため、議員の話す力だけではなく聞く力を向上すべき。

④小林 紀夫 氏 (宇都宮市議会議長)

- ・ 宇都宮市議会改革 議会基本条例など

▽住民参加活動への参加と問題把握の重要性

▽女性や若者の立候補者が増えて欲しいが現実的には厳しい中で、議会としてどのように意見を聴き、吸い上げるか。

▽議会と住民の関係を近づけるには大選挙区の解消も方法の一つ。

▽公職選挙法の規制が厳しく候補者の訴えが届きにくい。

▽議員任期の見直し

※質疑応答 ○投票率を上げるために：公選法の縛りが厳しく訴えが届きにくい実態が一つにはあるかもしれない。議会だよりのモニターを。○声の大きい住民以外のサイレントマジョリティの声を：自己啓発・足元を掘り下げて。議会改革が重要

第2日目 11月15日(木)

【課題検討】

議会と住民の関係について

コーディネーター

江藤 俊昭 氏 (山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授)

事例報告者

桑田 鉄男 氏 (久慈市議会副議長)

伊藤 健太郎 氏 (新潟市議会議員、新潟市議会主催者教育推進プロジェクトリーダー)

ビアンキ アンソニー 氏 (犬山市議会議長)

道法 知江 氏 (竹原市議会議長)

発表内容・パネリスト

①久慈市議会事例報告

桑田 鉄男 氏 (久慈市議会副議長)

- ・主な議会改革の取組み 基本条例、市民協働、議会間友好交流、タブレット端末、災害時議会マニュアルなど
- ・「議会じぇじぇじぇ基本条例」は前文を方言にした。
- ・「かだって会議」の「かだって」は、久慈地方の方言で、声なき声を語ってもらい、一緒に話し合う意味でネーミング。議会報告会や公聴会の枠を超えたワールドカフェ形式による対話型の集会。議会に警戒心・無関心な住民層、特に働き盛り・子育て世代をターゲットにした。市民と議会の垣根を越えて、距離を縮めるように設計した。主権者教育にもつながっていると実感している。

②新潟市議会主権者教育推進プロジェクト

伊藤 健太郎 氏 (新潟市議会議員、新潟市議会主権者教育推進プロジェクトリーダー)

- ・有志議員の発案により議長のリーダーシップにより議会として対応。
- ・市内中学校・高校を対象とし、教育委員会・選挙管理委員会とともに取り組んでいる。
- ・各会派から選出し、当該区域以外の議員を派遣するなど中立性に配慮している。
- ・分かりやすい課題を設定して、合意形成のロールプレイングを通して、模擬市議会を体験する。
- ・推進することができたポイントは、議長のリーダーシップ、企画は有志で自由に行う、属人的な取組みにならないような十分な配慮、学校・教員への配慮や負担軽減こと

③「市民参加」と議会機能向上～愛知県犬山市議会の取り組み

ビアンキ アンソニー 氏 (犬山市議会議員)

- ・権限の限り機能した議会にする。受け身の議会を積極的な機関として与えられた権限を最大限に行使する。
- ・そのためには、議員間討議、政策立案・提言力向上、市民参加が不可欠となる。
- ・議員間討議から意見を集約して行政への申入れを行う。
- ・市民参加は、女性議会、公募した市民が議会で5分間行う市民フリースピーチなどを実施した。
- ・執行部は参加せず、市民意見は全員協議会で議員間討論を通し集約して、申入れを行う。

④女性と議会との関係～お互いが尊重し認め合う議会に～

道法 知江 氏 (竹原市議会議員)

- ・生い立ち～島へ移住、農業従事・子育て
- ・女性軽視を変えたい、女性の声を届けるため政治参加した。
- ・議員活動の成果 妊婦検診・がん検診助成
- ・議会は何をしているのか分からないという市民の声を聴き、議会の見える化、情報発

信を進める。

- ・西日本豪雨の経験から災害支援連絡会・議員行動マニュアルを策定した。

▽議会報告会の外部ファシリテーターの予算化ができれば

▽会派の市民意見交換会が、議会報告会へと進化した。

▽事務局職員のモチベーション

▽災害時の経験から議員の動きで職員が困らないように議員行動マニュアルを作成した。

▽大学での議会報告会から始めては。

【まとめ】

全国市議会の議員2,000人が一同に会する研究フォーラムは、地方によって様々な議会の取り組みを情報交換する貴重な機会である。

このテーマは、この先生という印象もあった。議会改革の取り組みは、議会基本条例の策定が多くの自治体で進められたが、実際の議会活動にどれだけ活用ができているのだろうか。

基本条例がなくともチェック機関として果たすことができる権能が議会には与えられているので、大いに活用して、発揮することが大切である。

地域のことは、議員が一番良く分かっているという普段の活動を生かして、質問なり、申入れなり、行政に働きかけていける。